



學校基本林賣却に

疑を投げる部落民

七百圓が何所へ消えてゐるか
三千五百圓の賣價は表面だけ
其筋でも内債中の模様

石城郡永戸村の上下永井兩部落が熱心な運動で本年七月下旬同村下永井字火澤地内の山林（杉及び雑木）一町七反歩の國有林を永井小學校基本財産として三千圓で拂下げた其の支拂金に充當すべく右立木全部を賣却することになつて村會議員及び區長その他に評價された際、附に四千圓の價値あるものと唱ひられて若し同價以下の場合は何時でも通常の買手を世話してやると語つた村議があつたものを其の後妙な経緯で部落内の有志松谷信雄、柴崎佐七、阿部金藏、柴崎米吉並びに學務委員等を加へる幹旋で小川郷前丸通運送店主に賣却済みとなり現に同山林は伐採に着手されてゐる、最近に至つて同賣却に種々な取沙汰がありその筋でも内債中にあるものゝ如き一方に於ては部落民大會を開いて内容を糾さねばならずとさへ叫ばれてゐるが正聞する所によれば問題視される賣却契約は七月十九日夜區長宅に於て成立されたものらしく超えて同月二十一日五百圓の手金を受け残る金額三千圓は當月二十七日中野屋町扇屋旅館方で前記松谷信雄氏等立會の

床次遞相の急逝に

新黨轉向者の不安

東都の吉報に胸撫で下す

明年の衆議院議員總選舉を控へる縣議選はその足場堅めである爲め政民兩派に異常な緊張を漲せらしてゐるが現内閣の組織に當り政友會に大衝動を與へた内閣の一人である床次遞相の急逝は所謂新黨樹立の中心人物であつただけに右計議に相當の支障あるを傳へられ豫て私かに新黨入りを畫策中である本縣選出代表諸士少數の中に思ひがけぬ愁眉を投げつけられてゐるが素よりうまく行かねばならぬ迄のもので表面的の動搖はないにしても政府支援の新陣營に移り明年の合戦に打つて出でやう準備に余念のない本縣東部方面に於ける某代議士の如き新黨の大手筋である内田鐵相に既に身賣りの下契約が出来てゐると傳へられ聴き巧みな返返りを手もなく演じられるであらうものに少なからず不安であると思はれてゐるが早くも東都方面から來た情報には望月翁の入閣で滯留なく所期の計畫を進展させること云ふので不安の胸を撫で下した模様であるが某氏の動きは頗る興味視されてゐる

小野氏に力まれ

友再評定

縣議候補に難産中の石城政民兩派に於ける苦悶は昨紙にも所報したが政友派に於て四名の公認を決し小野晋平氏を非公認とせる通告は黨の功勞者であり先聲である同氏に對し當らざる處置として一般の非難あるが如く小野氏の決意は斷然これを退けた爲め今日午後一時から中野屋旅館に再び幹部會を開きました民政黨では其の後郡南候補に植田町

功勞組頭の

頌徳碑

小名濱で今日除幕式
石城郡小名濱消防組では元町消防組頭を永く勤め非常功績を有する志賀次氏のため豫めて同町公園に頌徳碑建設の工事中であつたが此の程漸く竣功したので今日午前十時盛大な除幕式を行つた

飯野

日本刀を贈る

劍道試合

武神の庭に奉納の合戦

平町の八幡小路鎮座神社飯野八幡神社は源頼義の東征に石清水の神靈を奉じた五里八幡で祭田別尊を祭り九月十五日の例祭には毎年非常な賑はひを呈するが宵祭には流鏑馬の

瀧木炭の八月生産

前月一萬六千俵余減

前月より四萬二千俵減る
五ヶ月合計では五千四百

瀧通り木炭の八月検査高は合計一萬五千八百二十二俵で七月に比較せば相馬郡は三千四百九十九俵を増産したが石城双葉の減産で一万六千二百二十六俵の減少である各郡の検査高を上ぐれば

郷土史抄

遺影を偲ぶ

瀧川家の史料探訪
例へば天保の飢饉に際して

野口友太郎、西凡亮等と共に奮然決起して、筑波山に大義を呼號したが、忽ち敗れて我が多郡に散逸し、尋いで榎倉に逃れて捕斬された事と、又維新の反動にあつて、同局（今の東京帝國大學の史料志の松井兵馬が孤死と並に神谷陣屋山下清伸の憤死、乃至は幾多の國難に殉じた死者修繕せしめられた。此の際、初め、其の他郷土の義人、仁者の故傳を精述して、此れをしたが、各落は未だ混亂の時新政府の部局に提供し、又招待であるから、其の整理にま

四倉藩市場の臨休

出荷薄の爲廿二日頃迄

既取引八千五百八四貫

四倉藩市場では出荷薄のため、夕の總額三萬四千九百四十四圓八十五錢に達した、尚ほ昨日から臨時休業来る二十一日頃まで取引を行はざることになつたが同場に於ける去る八日までの取引高は出荷八千五百八十三圓七百七十

石城郡に第二の

嗜眠性腦炎發生

六日から三日間眠り續けて
醫師の診断で同病と決定

東都に流行の嗜眠病は遂に地方にも發生の騒ぎを見せ本月初め石城郡植田町の小濱吉田竹千代次男（九）に同病の徴候あり町内岡村村兩醫師の診断で目下流行の眠り病と判り同郡最初の發生と云はれたが今回また、郡内豊間村豊

米價は

尚高騰か

石城地方に於ける米價の高騰は天候の回復で若干緩和されつつあるものゝ、漸く在米少な

物見ヶ岡稻荷神

社の例祭

平町舊城址の物見ヶ岡稻荷神社では来る十二日例祭執行の管である十一日の宵祭から余興に花火、演藝等がある由で善男善女の参詣に賑ふだらう

我が物顔

他の臺口を

山形縣北巨鹿郡藤崎村の下今井花田健一（八）は坊主の姿で各地を廻つてゐるが去月二十四日夜八時半頃石城郡好間村の飲食店島田しげり方へ煙草を購ふべく泥酔でたち寄つた際同家の女中が上り口に

では手が足りなかつた。大い

産業方向

農家向きの石鹼製造法

(上) 東京三井社山添生

石鹼と云へば化粧洗剤のみ使はれるやうに考へ勝ちだが現在では薬品を水によく溶解させる乳化剤としての用途もなかく、廣い、これを農村だけに局限した範圍で考へても果實蔬菜類の病虫害驅除豫防に用へる場合には是非なくならぬものである。

農薬用の石鹼は従來は高價なものでなければ用をなすなれぬ石鹼や粉末石鹼の如き曹達灰(無水炭酸曹達)や硫酸曹達(水ガラス)の如きものが這入つてゐるものは薬品を沈澱、分離させ農作物に藥害を與へる缺點があることとされ製品の處方として

豚油(溶解度をよくする爲め)三〇%
椰子油(殺菌力を強くする爲め)二五%
中脂(乳化力を高める爲め)四〇%
松脂(粘着力を増す爲め)五%

の如きものを背性曹達で鹼化、摺折した高級石鹼を使用してゐた、しかし此の製法は素人には無理であるから農村で自給する爲めの石鹼製造原料にはその地方で求められる魚油とか動物性の廢油(醬油を搾つた後に残る油で醬油醜造場にある正油なども含む)を背性曹達或は背性加里で鹼化したる謂所煮込み石鹼の水溶液で藥劑或は礦物油を乳化させ

と安價に農薬用石鹼が出来る次に一例として正油を原料とする粉石鹼の製造法を述べて見やう。

カクニ石鹼

嚴密なる注意を以て原料を精選するが故
泡立に……芳香に……量に……總て理想的優良品です

1ケ…10錢 1ダース…1圓 純マルセル石鹼1ケ…10錢

ツルヤ

平四電一四〇

債券 公債 兩替 金融

多田井質店

平町大工町

電話五九一

耳鼻咽喉科専門

醫學士 鈴木正男

平町田町(電話五八八番)藤田女學校前

入院應需 鈴木醫院

農村の更生振興に 天然加里肥

最も適應する作物!

蔬菜 馬鈴薯 里芋 しやうが類
瓜果類ではトマト 茄子の如き比較的病害に弱い作物に施用すれば抵抗力を與へ落果を防ぎます
天然加里肥は酸性でないから如何に施用しても土壌を感變する虞は絶対にありません

一俵 廿五錢 製造販賣 金成國雅

平町鎌田 電話六八八番

貨物自動車の御用命に應じます

入院應需

明雲堂眼科醫院

平町前 電六六九番

●自炊の便あり●

お醤油は

ヤマフル

醤油味噌 たっぷり正宗 經濟食料品



山崎合名會社

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

電話一〇七〇番

便利で 經濟な 日下家政婦會の 派出婦を御利用

身元確かで品行方正ですから 何をお任せしても安心です

日下家政婦會

會長 日下すい子

電話(呼)一八九番

會員(同志)の御加入を御誘ひ致します
派遣なき間暇に裁縫や編物を御教授致します

朝日

煙突は 朝日

石鹼を主成分として製造

金屋商店

帝國海上火災保險株式會社

平代理店 關内正一
平町二丁目 電話二一六番
事務取扱者 阿部助次郎

石炭 平町郵便局通り
コークス 水野石炭店
豆炭 電話二九九番

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

高久病院

平町田町 電話五二三番
院長 醫學士 高久

新時代の要求

附屬專業に等外看護婦部を特設いたし皆様の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します

平看護婦會

平町南町 電話三〇七番
會長 清野キヨ

經濟的な御便意を願致す

御手不足の御家庭、御病人の付添、産婦の御家庭

スベインG・H・N 元詰

ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒 1・10

御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です

(平2) 西村屋藥舖 (電3)

藤沼醫院

平町紺屋町 電話五〇七番

毎度御引立を蒙り御厚情深謝致します、今回當店に於て貨物自動車部を新設し金成自動車部を專屬として三十五年式新車を以て貨物一般の運輸に従事致しましたから倍舊の御用命と御利用の程を偏へに御願上ます、

鐵道、貨物一般

小口三清宮運送店

取扱 貨物自動車運輸 電話二六七番

金成自動車部

自動車の御用は 電話二六七番